

出荷を前にJA玉城集出荷場で目ぞろえ会を開いた。高品質なおくらの出荷に向け、生産者らの意識統一を図った。

目ぞろえ会では、参加者は、サンプルを手に取りながら出荷規格と品位基準を確認した。JA全農みえや伊勢志摩地域農業改良普



及センター、JAの担当者、市場情勢や生育状況、出荷時の注意点などを説明した。

JAの担当者は「今年産は、少雨の影響で生育がやや心配されるが、品質は良好で、例年並みの出荷量が期待できる。高品質出荷に努め、他産地に負けないようにしたい」と話していた。

JA管内では、生産者28戸が約57アで栽培する。JAオリジナルブランド「伊勢やさしい」の一つとして、10月上旬まで県内市場へ出荷を続ける。

伊勢志摩地域農業改良普及センターの職員から説明を受ける生産者ら

## オクラ目ぞろえ 良品へ意識統一

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA伊勢は10日、オクラの